

研究機関：広島大学

研究課題名	鏡視下腱板修復術前後の画像評価と臨床成績評価に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科整形外科学 教授 安達 伸生
研究期間	2022年 1月20日(倫理委員会承認後)～ 2024年 3月 31日
対象者	2011年10月から2021年3月の間に、広島大学病院整形外科で腱板断裂に対する鏡視下腱板修復術療を受けられた患者さん。
意義・目的	腱板断裂に対して、鏡視下腱板修復術が有用であることは明らかになっていますが、術後成績に影響を与える患者因子や疾患因子、手術手技、また画像評価と臨床成績の関連などは十分わかっていません。そこで本研究では、術前の患者状態（年齢、性別など）や疾患状態（腱板断裂サイズやその他合併損傷の有無）、手術手技、術前後の画像変化などが、鏡視下腱板修復術後の臨床成績（腱板再断裂や肩関節可動域、筋力、臨床スコア）に与える因子を調査するものです。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、利き手、手術記録、レントゲン、MRI、肩関節可動域、筋力、臨床スコアです。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科整形外科学 教授 安達 伸生
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5232 広島大学病院整形外科 助教 原田 洋平